

あらたな市場を切り拓く女性の感性 ～あなたが知らない「上質ごち」「ときめき消費」教えます～ 2007年の旅行動向見通し

開催概要

旅行・観光業界向けに、旅行市場の動向分析と新しい志向・潮流の紹介を軸として、当財団が毎年12月に開催。06年度は、当財団観光文化事業部観光経済分析チームの調査をもとに「2007年の旅行動向見通し」を発表、また、活発になってきた30～40代女性の消費に着目し、「あらたな市場を切り拓く女性の感性～あなたが知らない「上質ごち」「ときめき消費」教えます～」をテーマとしたパネルディスカッションを開催。

- | | | | |
|-------|-----------------------|------|--------------------------|
| ■ 担当者 | 小林英俊・黒須宏志・中野彩香 | ■ 場所 | 経団連会館 11F 国際会議場 (東京・大手町) |
| ■ 日時 | 06年12月22日 13:30～17:30 | ■ 主催 | (財)日本交通公社 |

プログラム

◆第1部

「2007年の旅行動向見通し」

(財)日本交通公社 観光文化事業部観光経済分析チーム

(黒須宏志、塩谷英生、久保田美穂子、安達寛朗)

06年の旅行・観光マーケット全般の状況、そして2007年の見通しについて、当財団がこれまで19年間にわたって継続してきた「観光業界を代表する方に聞く旅行の見通しアンケート」や、四半期ごとに発表している『JTBF 観光経済レポート』などに基づいて解説。また、期待される団塊世代の需要動向について、リタイア目前の59歳男性への旅行意向アンケート調査に基づく分析を発表。

◆第2部

「あらたな市場を切り拓く女性の感性～あなたが知らない「上質ごち」「ときめき消費」教えます～」

パネリスト：伊藤忠ファッションシステム 事業開発室マーケティングマネジャー 川島蓉子氏

マーケティングライター/インフィニティ代表取締役 牛窪恵氏

コーディネーター：(財)日本交通公社 理事 小林英俊

マーケットの成熟化とともに、消費の経験値が上昇し、自分のモノサシを持った消費者の行動は、単一の軸で切り分けられるようなものではなくなっている。高級や高品質といった客観的な尺度ではなく、消費者の主観的な感性に訴えかけるものが消費の現場で力を持ち始めているのではないかという仮説に基づき、30～40代を中心とする成熟した消費者が支持するクオリティについて「上質ごち」というキーワードを提案している川島蓉子氏と、市場をリードする同年代シングル層の消費行動の読み解きを行ってきた牛窪恵氏から、女性たちのこのような感性が創り出しつつある市場について探った。